

行政評価システムを活用した平成17年度予算編成の概要について

平成16年11月29日

市長公室

財政部

1 行政評価システムの目的及び評価と予算編成連動について

本市の行政評価システムは、市の仕事をマネジメント（企画、実施、評価）することによって、

- ① まちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝える～施策達成度の公表
- ② まちづくりの課題に優先順位をつけて、限られた資源を有効かつ効率的に使う～経営資源の有効活用
- ③ 市の仕事をより価値のあるものへと改革改善し続ける～継続的な改革改善と人材開発の実践

ことを目的としている。

平成13年度からこの行政評価システムの整備に取り組んできたところであるが、今年度は、経営資源の有効活用という目的に沿って事務事業及び施策の優先度評価を行い、その評価結果を活用しつつ、施策毎予算枠配分方式による平成17年度予算の編成に取り組んでいるところである。

2 説明資料

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 平成17年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程 | 市長公室 |
| (2) 資料1 平成15年度施策の振り返り（評価） | 〃 |
| (3) 資料2 新しい総合計画の各施策毎の評価区分 | 〃 |
| (4) 資料3 平成17年度の予算編成について | 財政部 |

《平成17年度施策毎枠配分方式による予算編成の工程》

資料1

H15年度施策の振り返り（評価）

- ◎ 成果（実績）の水準の検証
 - ① 経年比較
第三次総合計画スタート時点の水準との比較
 - ② 近隣等比較
近隣市町村・東北各県県庁所在市等との比較
 - ③ 住民期待比較
住民の期待する水準との比較
- ◎ 成果向上に市の施策が及ぼす影響力の検証

新たな政策課題に対応した重点化施策

- ◎ 優先プロジェクト施策
 - 1 雇用対策
 - 2 盛岡ブランドの確立
 - 3 ガーデン都市づくり
- ◎ 分野別重点施策
 - 4 子育て支援と地域福祉の推進
 - 5 次代を担う人材の育成
 - 6 暮らしやすい、環境にやさしい都市の創造
 - 7 市民に開かれた理想の県都の創造

H16.3 策定

重点配分・水準維持10施策の選定（H17年度施策の優先度評価）

資料1・2

【基本的な考え方】

- ◎ H15年度施策の振り返りの結果、成果水準の低かったもののレベルアップを図る。
- ◎ 同様に、住民期待比較で成果水準の特に低かったもののレベルアップを図る。
- ◎ 「新たな政策課題に対応した重点化施策」との連動を図る。
- ◎ 成果向上に市の施策が及ぼす影響力が大きいもの、成果向上が他の施策に好影響を及ぼすものなど投資効果の高い施策を重点配分施策とする。

重点配分施策《3施策》

- 1 市民生活を守る安全対策の充実（防犯・交通安全の推進）
- 2 快適な居住環境の実現（生活道路）
- 3 うるおいのある公園・街路樹の確保（花と緑のまちづくり）

水準維持施策《7施策》

- 1 みんなで支える子育て支援の展開（市民福祉の充実）
- 2 将来を担う次世代の育成（学校教育の充実）
- 3 地域資源をいかした観光・物産の振興（観光・物産の振興／イメージアップの推進）
- 4 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進（勤労福祉の充実）
- 5 多様で活発な商業・サービス業の振興（商業・サービス業の振興）
- 6 都市活動を支える交通環境の構築（総合交通体系の整備）
- 7 計画的で効率的な行政運営の推進（行財政運営の効率化）

これら10施策以外の
31施策は配分抑制施策
となる。

行政評価システムを活用した平成17年度予算編成の概要について

(追加資料)

平成16年12月6日

市長 公 室

1 平成17年度予算編成に係る平成15年度施策の振り返り（評価）について

(1) 施策評価の実施方法について

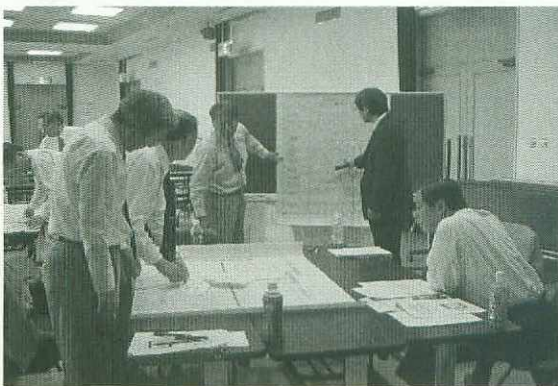
行政評価推進委員会及び同幹事会を開催し、平成15年度施策の振り返り（評価）を行った。

- ・ 作業は、庁議メンバーで構成している行政評価推進委員会と各部の次長級の職員で構成している幹事会によるグループワークにより実施
- ・ 委員会のメンバーを4グループ、幹事会のメンバーを4グループに分け、施策の成果水準等についてグループ毎に議論し評価

(2) 評価の手法について

- ・ 8グループの評価結果を「成果実績の水準（P）」と「成果向上に市の施策が及ぼす影響力（C）」の2点から取りまとめた結果が資料1の「平成15年度施策の振り返り（評価）」
- ・ 「成果実績の水準（P）」は、資料2の結果集計表のとおり「①経年比較」、「②近隣等比較」及び「③住民期待比較」について、それぞれ5段階の点数化により評価し合計点を算出
- ・ 「成果向上に市の施策が及ぼす影響力（C）」については、「市の施策の影響力が大きいもの」から「住民の取り組みが主体」となるものまで4段階に評価
- ・ グループのうち、最も多くのグループが評価した区分を市の評価と決定

【委員会の検討の様子】

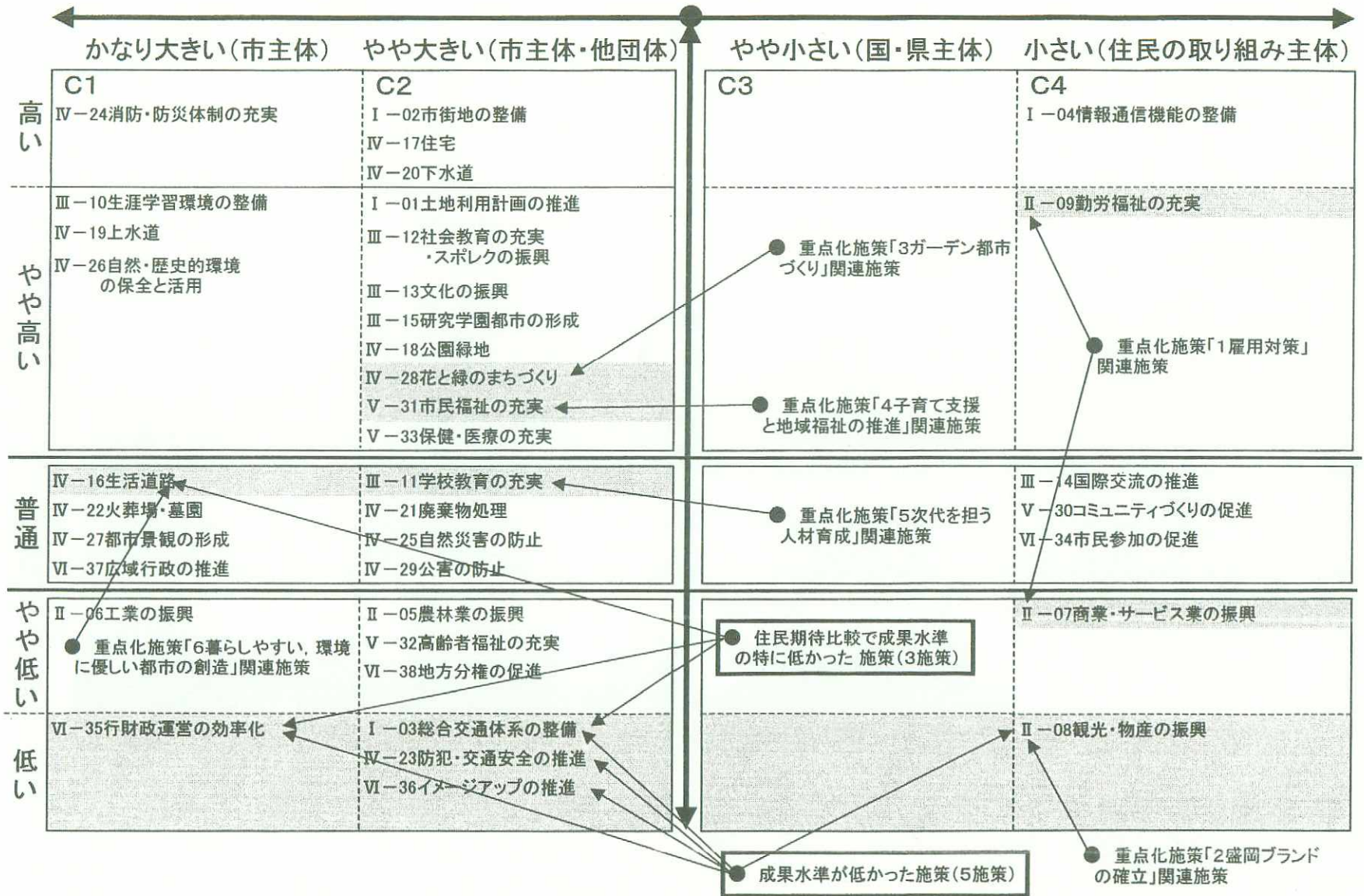


2 説明資料

- (1) 資料1 平成15年度施策の振り返り（評価）
- (2) 資料2 平成15年度施策の振り返り（評価）結果集計表
- (3) 資料3 平成15年度施策の振り返り（評価）内訳表

成果向上に市の施策が及ぼす影響力

成果水準



平成15年度施策の振り返り(評価)結果集計表

No.	施策名	成果実績の水準(P)-①					成果実績の水準(P)-②					成果実績の水準(P)-③					成果実績水準の合計点 ①+②+③	成果向上に市の施策が及ぼす影響力 (C)							
		①経年比較					②近隣等比較					③住民期待比較						C1	C2	C3	C4	評価なし			
		P1	P2	P3	P4	P5	評価なし	P1	P2	P3	P4	P5	評価なし	P1	P2	P3							P4	P5	評価なし
1	土地利用計画の推進		7	1				2	4	2					1	7				8	1	6	1		
2	中街地の整備	☆	4					1	5	2					△	4				6	1	7			
3	総合交通体系の整備		1	3	4				3	③	2					5	3			11		7	1		
4	情報通信環境の整備	☆	4						2	4	2				1	4	3			7	2	1		5	
5	農林業の振興				5	3			7	1					3	③	1	1		10		5	3		
6	工業の振興			1	3	1	3		②	1		2	3		1		3	1	3	10	③	1		3	1
7	商業・サービスの振興			1	3		4		3	1			4		1	4		3		10		2		5	1
8	観光・物産の振興			1	7				1		7				1	1	6			12	1	3		4	
9	勤労者福祉の充実	1	3				4		1	3			4		1	3		4		8		1	1	5	1
10	生涯学習の推進 (生涯学習環境の整備)	1	4	3						8					2	③	3			8	6	2			
11	生涯学習の推進 (学校教育の充実)		1	6	1				1	6			1		1	4	3			9		6	2		
12	生涯学習の推進 (社会教育の充実・スポレクの振興)		7	1					3	5					2	③	3			8	2	③		3	
13	生涯学習の推進 (文化の振興)	2	6						1		4		3		4	3	1			8	1	5		2	
14	国際交流の推進		1	6	1					6	1		1		1	6	1			9	1	2		5	
15	研究学園都市の形成	1	3	2	2					4	1		3		4	2	2			8		6	1	1	
16	生活環境の整備 (生活道路)	1	7						1	5	2				1	5	2			9	8				
17	生活環境の整備 (住宅)	1	6	1					6	2					③	3				7		7		1	
18	生活環境の整備 (公園緑地)		8							5	3				5	3				8	3	5			
19	生活環境の整備 (上水道)	2	5	1					1		7				2	5	1			8	7	1			
20	生活環境の整備 (下水道)	3	5						1	7					2	4	2			7		6	2		
21	生活環境の整備 (廃棄物処理)		1	1	6				8						2	1	5			9	1	6		1	
22	生活環境の整備 (火葬場・墓園)		6	2						7	1				2	6				9	8				
23	市民生活の安全確保 (防犯・交通安全の推進)		1	3	4				2	5	1				1	7				11		4	3	1	
24	市民生活の安全確保 (消防・救急体制の充実)	1	5	1	1				7	1					4	3	1			6	5	3			
25	市民生活の安全確保 (自然災害の防止)		2	5			1		1	5			2		△	4				9		☆	4		
26	快適な都市環境の創出 (自然・歴史的環境の保全と活用)			8					4	2			2		1	4	3			8	△	4			
27	快適な都市環境の創出 (都市景観の形成)		2	4			2		4	2			2		2	2	4			9	4	3		1	
28	快適な都市環境の創出 (花と緑のまちづくり)		7	1					2	4			2		1	4	3			8	2	4		2	
29	快適な都市環境の創出 (公害の防止)		5	3					3	5					1	3	4			9	1	4	1	2	
30	コミュニティづくりの促進		5	3						7	1				4	☆				9	1	1		6	
31	市民福祉の充実	☆	4							5			3		△	4				8		6	2		
32	高齢者福祉の充実		2	4	2					8					3	5				10		6	1	1	
33	健康・医療の充実		8						3	2			3		2	2	4			8		7		1	
34	市民参加の促進		3	③	2				2	3	1		2		1	4	3			9	3	1		4	
35	行政効率の向上				6	2				1	6	1			1	5	2			12	8				
36	イメージアップの推進		1	6	1					3	5				1	2	5			11	3	☆		2	
37	広域行政の推進			8									3		1	4	3			9	6	2			
38	地方分権の促進	1	3	4					1	5			2		1	3	4			10	2	③	3		

※ 表の見方
 ○マークについて:委員会・幹事会の8つのグループで3つ以上に割れてしまったものについて、同数であるものが含まれる場合左右を勘案して決定したもの。(例1:2, ③, 3, 0の場合は2と3にはまれた3を選択, 例2:②, 1, 0, 2の場合は両側が2であるが1が軸にある方を選択した。)
 △マークについて:委員会・幹事会の意見が同数であり、判断がつかないものについて、委員会多数を占めたもの(例:総数4, 4 → 委員会3, 1の場合委員会3が指示したものを採用)。
 ☆マークについて:委員会・幹事会の意見が同数であり、判断がつかないものについて、なおかつ委員会の意見が同数である場合について、委員会の場でも他のグループ(9つ目のグループ)の判断を加えたもの。

◇施策相対評価結果

政策・施策		成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」	成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」	成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」	成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」	備考
機能的で魅力ある都市の創造	施策名 01 土地利用計画の推進 対象 市域 意図 健全な都市環境に向け、自然環境の保全、農林業との調和を図りながら市街地を形成し、総合的かつ計画的な土地利用を実現する。 成果指標 ①都市計画区域面積/市域面積 ②農用地区域面積/市域面積 ③森林面積(国有林+国有林)/市域面積 ④市民意識調査による割合 7) 農地: 宅地への転換が目立つ 4) 森林: 破壊が進み少なくなった 1) 宅地: 現状に何かしら問題あり	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 0.0% P2 どちらかと言えば高くなった 87.5% P3 ほぼ同じ水準で変わらない 12.5% P4 どちらかと言えば低くなった 0.0% P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 25.0% P2 どちらかと言えば高い水準である 50.0% P3 ほぼ同水準である 25.0% P4 どちらかと言えば低い水準である 0.0% P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0% P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 0.0% P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 12.5% P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 87.5% P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	C1 かなり大きい 12.5% C2 どちらかと言えば大きい 75.0% C3 どちらかと言えば少ない 12.5% C4 かなり少ない 0.0% - - - 評価なし(評価なし) 0.0%	
	施策名 02 市街地の整備 対象 計画的に市街地整備を図る目的で事業が行われている地区 意図 既存の市街地を整備し活性化させながら、盛岡駅西口地区、盛岡南地区へと軸状に連担する新しい市街地の形成を図り、拠点機能の充実と人口の定着化を図る。 成果指標 ①新市街地における土地利用(土地利用された商業地域の面積)/(商業地域の面積) ②市街地において整備された拠点施設数 ③土地区画整理事業地区及び宅地開発地区における市街化率(当該年度の地区内人口)/(施行地区の計画人口)	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 50.0% P2 どちらかと言えば高くなった 50.0% P3 ほぼ同じ水準で変わらない 0.0% P4 どちらかと言えば低くなった 0.0% P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 12.5% P2 どちらかと言えば高い水準である 62.5% P3 ほぼ同水準である 25.0% P4 どちらかと言えば低い水準である 0.0% P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0% P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 0.0% P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 50.0% P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 50.0% P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	C1 かなり大きい 12.5% C2 どちらかと言えば大きい 87.5% C3 どちらかと言えば少ない 0.0% C4 かなり少ない 0.0% - - - 評価なし(評価なし) 0.0%	
	施策名 03 総合交通体系の整備 対象 盛岡市内を移動する人と物資 意図 安全・円滑・快適に移動できるよう交通手段と施設(道路、駅等)の体系を確立する。 成果指標 ①将来道路網計画に対する都市計画決定の割合 ②都市計画道路の整備率 ③河川断面の混雑度(交通量/交通容量) ④歩道整備延長(国道・県道・市道) ⑤公共交通(バス・鉄道)利用者数 ⑥自動車平均旅行速度	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 0.0% P2 どちらかと言えば高くなった 12.5% P3 ほぼ同じ水準で変わらない 37.5% P4 どちらかと言えば低くなった 50.0% P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0% P2 どちらかと言えば高い水準である 37.5% P3 ほぼ同水準である 37.5% P4 どちらかと言えば低い水準である 25.0% P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0% P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 0.0% P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 0.0% P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 62.5% P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 37.5% 評価なし(評価なし) 0.0%	C1 かなり大きい 0.0% C2 どちらかと言えば大きい 87.5% C3 どちらかと言えば少ない 12.5% C4 かなり少ない 0.0% - - - 評価なし(評価なし) 0.0%	
	施策名 04 情報通信機能の整備 対象 市政情報、観光情報、文化催事情報 全世帯 事業者: 岩手ケーブルテレビジョン(株)、テレビ都南 高度情報通信サービス(インターネット、CATV)を市内のどこからでも利用できる。 市内の情報提供レベル格差を是正する。 意図 インターネットを利用している世帯の割合 ①ブロードバンド・サービスエリアカバー率 ②市パソコン普及率 ③市インターネット普及率 ④CATVカバー率 ⑤ICT ⑥TVT 成果指標 ①インターネット公共端末台数 ②CATV局一番組放送時間(自主制作番組) 7) ICT ④TVT(一週間当たり) *ケーブルテレビ2局の1週間当たり同一番組放送時間の話については、ソースの受け渡しをどうするか協議している。	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 50.0% P2 どちらかと言えば高くなった 50.0% P3 ほぼ同じ水準で変わらない 0.0% P4 どちらかと言えば低くなった 0.0% P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0% P2 どちらかと言えば高い水準である 25.0% P3 ほぼ同水準である 50.0% P4 どちらかと言えば低い水準である 25.0% P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0% P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 12.5% P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 50.0% P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 37.5% P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 0.0% 評価なし(評価なし) 0.0%	C1 かなり大きい 25.0% C2 どちらかと言えば大きい 12.5% C3 どちらかと言えば少ない 0.0% C4 かなり少ない 62.5% - - - 評価なし(評価なし) 0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考					
豊かで活力ある産業活動の展開	施策名	05 農林業の振興	主管課 農政課		P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%
	対象	農業者 林業者 市民	P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	87.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	62.5%		
	意図	・農林業者の所得の向上を図る。 ・農山村の活性化を図る。 ・森林機能の維持増進を図る。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3	ほぼ同水準である	12.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	37.5%		
	成果指標	①7) 農業粗生産額、生産農業所得 1) 農作物作付面積(水稲、畑作物、果樹) 2) 農作物収穫量(水稲、畑作物、果樹) 3) 家畜飼養頭数 4) ぼ場整備率(田)、〃(畑) ②民有林伐採面積 ③都市・農山村交流人口 ④人工林の適正な手入れ作業の実施率	P4	どちらかと言えば低くなった	62.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	0.0%		
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	37.5%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	12.5%	-	-	-		
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	12.5%	評価なし	(評価なし)	0.0%		
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	12.5%	評価なし	(評価なし)	0.0%		
	施策名	06 工業の振興	主管課 商工労政課		P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	37.5%
	対象	①製造業者 ②起業を目指す者	P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	25.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	12.5%		
	意図	工場の集団化を図る。 都市型産業(情報関連産業、頭脳産業、研究開発型産業)を育成する。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	12.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	0.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%		
成果指標	①製造品出荷額(従業員4人以上) ②起業支援施設「市産業支援センターのインキュベーション入居者(社)数	P4	どちらかと言えば低くなった	37.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	37.5%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	12.5%	P5	低い水準である(見劣りがする)	25.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	12.5%	-	-	-			
		評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	12.5%			
		評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	12.5%			
施策名	07 商業・サービス業の振興	主管課 商工労政課		P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%	
対象	市内の事業者(小売業・卸売業)及びサービス業者 市内の商店街等の団体 新規創業者 TMO 市民	P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	37.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	25.0%			
意図	第三次産業、中心市街地、商店街の活性化を図る。 魅力ある商品やサービスが提供できるようにする。 中小企業の経営力を強化する。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	12.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	12.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%			
成果指標	①商業統計調査における卸売業、小売業の商店数、年間販売額、従業者数 ②中心市街地の小売業の商店数、年間販売額、従業者数及び市内シェア ③事業所統計調査のサービス業事業所数と従業者数 ④中心市街地の通行量	P4	どちらかと言えば低くなった	37.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	C4	かなり少ない	62.5%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-			
		評価なし	(評価なし)	50.0%	評価なし	(評価なし)	50.0%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	12.5%			
		評価なし	(評価なし)	50.0%	評価なし	(評価なし)	50.0%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	12.5%			
施策名	08 観光・物産の振興	主管課 観光課		P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	12.5%	
対象	観光関連事業者(ホテル、旅館、バス、タクシー等) 観光客(市内、近隣の交流客を含む) 一般市民 地域ブランド(物産)関連事業者	P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	12.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	37.5%			
意図	魅力ある観光地づくりと観光客誘致促進により、観光客の増加を図る。 観光客や交流客を増加させることにより、関連事業の雇用の場を確保する。 祭り行事の活性化により豊かな市民生活を提供する。 地域ブランド(物産)の販路の拡大を図る。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	0.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	12.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%			
成果指標	①観光客の入り込み数(宿泊者数、日帰り客数、施設入場者数の合計) ②物産展等売上高の数値	P4	どちらかと言えば低くなった	87.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	87.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	75.0%	C4	かなり少ない	50.0%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-			
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%			

◇施策相対評価結果

政策・施策		成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」	成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」	成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」	成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」	備考			
豊かで活力ある産業活動の展開	施策名 09 勤労者福祉の充実 対象 15歳から65歳までの労働年齢者 意図 安心して勤労者生活が出来るようにする。 成果指標 ①盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数 ②労働年齢者に占める勤労者の割合	P1 高くなった(成果がかなり向上した)	12.5%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1 かなり大きい	0.0%
	P2 どちらかと言えば高くなった	37.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である	12.5%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2 どちらかと言えば大きい	12.5%	
	P3 ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3 ほぼ同水準である	37.5%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3 どちらかと言えば少ない	12.5%	
	P4 どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	0.0%	C4 かなり少ない	62.5%	
	P5 低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
	評価なし(評価なし)	50.0%	評価なし(評価なし)	50.0%	評価なし(評価なし)	50.0%	評価なし(評価なし)	12.5%	
ふるさとでの未来を支える人材の育成	施策名 10 生涯学習の推進 (生涯学習環境の整備) 対象 市民(乳幼児期から高齢期まで) 意図 学習者が、必要な生涯学習情報を容易に入手できるようにする。 成果指標 ①生涯学習事業についての窓口相談件数 ②公民館利用者総数 ③図書館貸出冊数	P1 高くなった(成果がかなり向上した)	12.5%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1 かなり大きい	75.0%
	P2 どちらかと言えば高くなった	50.0%	P2 どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2 どちらかと言えば大きい	25.0%	
	P3 ほぼ同じ水準で変わらない	37.5%	P3 ほぼ同水準である	100.0%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3 どちらかと言えば少ない	0.0%	
	P4 どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4 かなり少ない	0.0%	
	P5 低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	
ふるさとでの未来を支える人材の育成	施策名 11 生涯学習の推進 (学校教育の充実) 対象 ①盛岡市内の幼稚園児 ②盛岡市内の小中学生 ③盛岡市内の中中学生 ④盛岡市立高等学校生 ⑤盛岡市立小・中・高等学校・幼稚園教職員 意図 広い心と豊かな創造力を持ち、国際性に富み、愛郷心のある、個性的で自主・自立と公共の精神に満ちた、健康でたくましい行動のできる人間の育成を図る。 成果指標 ①小中学校学力検査の全国水準との比較 ②不登校児童生徒の出現率の全国水準との比較 ③小中学生体力運動能力の全国水準との比較	P1 高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1 かなり大きい	0.0%
	P2 どちらかと言えば高くなった	12.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である	12.5%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2 どちらかと言えば大きい	75.0%	
	P3 ほぼ同じ水準で変わらない	75.0%	P3 ほぼ同水準である	75.0%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3 どちらかと言えば少ない	25.0%	
	P4 どちらかと言えば低くなった	12.5%	P4 どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4 かなり少ない	0.0%	
	P5 低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	12.5%	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	
ふるさとでの未来を支える人材の育成	施策名 12 生涯学習の推進 (社会教育の充実・スポレクの振興) 対象 市民(乳幼児期から高齢期まで) 意図 各種の社会教育講座や、スポーツ・レクリエーション活動の学習機会を提供する。 成果指標 ①講座等の受講(参加)者数 ②スポーツ・レクリエーション行事の参加者数	P1 高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1 かなり大きい	25.0%
	P2 どちらかと言えば高くなった	87.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である	37.5%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2 どちらかと言えば大きい	37.5%	
	P3 ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3 ほぼ同水準である	62.5%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3 どちらかと言えば少ない	0.0%	
	P4 どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4 かなり少ない	37.5%	
	P5 低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	評価なし(評価なし)	0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策		成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」	成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」	成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」	成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」	備考
ふるさと の未来を支える人材の育成	施策名 13 生涯学習の推進 (文化の振興) 主管課 文化課 対象 ①盛岡市民 ②文化遺産 ③文化施設 意図 ・市民の芸術文化活動の向上を図り、活動環境を整備する。 ・歴史文化遺産を保護・活用する。 ・博物館施設を整備・活用する。	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 25.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0%	C1 かなり大きい 12.5%	
	対象 ①盛岡市民 ②文化遺産 ③文化施設 意図 ・市民の芸術文化活動の向上を図り、活動環境を整備する。 ・歴史文化遺産を保護・活用する。 ・博物館施設を整備・活用する。	P2 どちらかと言えば高くなった 75.0%	P2 どちらかと言えば高い水準である 12.5%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 50.0%	C2 どちらかと言えば大きい 62.5%	
	意図 ・市民の芸術文化活動の向上を図り、活動環境を整備する。 ・歴史文化遺産を保護・活用する。 ・博物館施設を整備・活用する。	P3 ほぼ同じ水準で変わらない 0.0%	P3 ほぼ同水準である 0.0%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 37.5%	C3 どちらかと言えば少ない 0.0%	
	成果指標 ①文化施設利用者数 ①②主催事業入場者数(5事業) ②文化活動者数(芸術協会会員数) ②②芸術文化活動者育成支援 ③文化財指定等数 ①郷土芸能祭入場者数 ②指定文化財数 ④博物館施設入館者数	P4 どちらかと言えば低くなった 0.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である 50.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 12.5%	C4 かなり少ない 25.0%	
	成果指標 ①文化施設利用者数 ①②主催事業入場者数(5事業) ②文化活動者数(芸術協会会員数) ②②芸術文化活動者育成支援 ③文化財指定等数 ①郷土芸能祭入場者数 ②指定文化財数 ④博物館施設入館者数	P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 0.0%	- -	
	成果指標 ①文化施設利用者数 ①②主催事業入場者数(5事業) ②文化活動者数(芸術協会会員数) ②②芸術文化活動者育成支援 ③文化財指定等数 ①郷土芸能祭入場者数 ②指定文化財数 ④博物館施設入館者数	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 37.5%	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%	
	施策名 14 国際交流の推進 主管課 国際交流課 対象 市内に住む全ての人(在住外国人を含む) 盛岡を訪れた外国人 国際交流関係団体 意図 国際化や国際交流に関心を持ち、国際理解を深め、国際交流活動を活発にする。	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 0.0%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0%	C1 かなり大きい 12.5%	
	対象 市内に住む全ての人(在住外国人を含む) 盛岡を訪れた外国人 国際交流関係団体 意図 国際化や国際交流に関心を持ち、国際理解を深め、国際交流活動を活発にする。	P2 どちらかと言えば高くなった 12.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である 0.0%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 12.5%	C2 どちらかと言えば大きい 25.0%	
	意図 国際化や国際交流に関心を持ち、国際理解を深め、国際交流活動を活発にする。	P3 ほぼ同じ水準で変わらない 75.0%	P3 ほぼ同水準である 75.0%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 75.0%	C3 どちらかと言えば少ない 0.0%	
	成果指標 「国際交流」の関心度 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人、企業) 国際交流関係団体数	P4 どちらかと言えば低くなった 12.5%	P4 どちらかと言えば低い水準である 12.5%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 12.5%	C4 かなり少ない 62.5%	
成果指標 「国際交流」の関心度 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人、企業) 国際交流関係団体数	P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 0.0%	- -		
成果指標 「国際交流」の関心度 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人、企業) 国際交流関係団体数	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 12.5%	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%		
快 適 で う る お い の あ る 環 境 の 創 出	施策名 15 研究学園都市の形成 主管課 企画調整課 対象 盛岡市内及び盛岡近郊の高校新規卒業者と大学新規卒業者 市内の事業所 意図 ①地元の大学に進学してもらう。新規学卒者の卒業後の受け皿づくりをつくる。 ②産学官の連携を促進する。	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 12.5%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0%	C1 かなり大きい 0.0%	
	対象 盛岡市内及び盛岡近郊の高校新規卒業者と大学新規卒業者 市内の事業所 意図 ①地元の大学に進学してもらう。新規学卒者の卒業後の受け皿づくりをつくる。 ②産学官の連携を促進する。	P2 どちらかと言えば高くなった 37.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である 0.0%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 0.0%	C2 どちらかと言えば大きい 75.0%	
	意図 ①地元の大学に進学してもらう。新規学卒者の卒業後の受け皿づくりをつくる。 ②産学官の連携を促進する。	P3 ほぼ同じ水準で変わらない 25.0%	P3 ほぼ同水準である 50.0%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 50.0%	C3 どちらかと言えば少ない 12.5%	
	成果指標 ①盛岡近郊の高等教育機関への進学率 (盛岡近郊高等教育機関への進学者数 /盛岡近郊高校新規卒業者数) ②盛岡近郊企業等への就職率 (市内企業等への就職者数/盛岡近郊大学新規卒業者数) ③産学官の共同研究テーマ数	P4 どちらかと言えば低くなった 25.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である 12.5%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 25.0%	C4 かなり少ない 12.5%	
	成果指標 ①盛岡近郊の高等教育機関への進学率 (盛岡近郊高等教育機関への進学者数 /盛岡近郊高校新規卒業者数) ②盛岡近郊企業等への就職率 (市内企業等への就職者数/盛岡近郊大学新規卒業者数) ③産学官の共同研究テーマ数	P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 25.0%	- -	
	成果指標 ①盛岡近郊の高等教育機関への進学率 (盛岡近郊高等教育機関への進学者数 /盛岡近郊高校新規卒業者数) ②盛岡近郊企業等への就職率 (市内企業等への就職者数/盛岡近郊大学新規卒業者数) ③産学官の共同研究テーマ数	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 37.5%	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%	
快 適 で う る お い の あ る 環 境 の 創 出	施策名 16 生活環境の整備 (生活道路) 主管課 道路管理課 対象 道路利用者 市内の生活道路 意図 安全で、円滑な通行を確保する。	P1 高くなった(成果がかなり向上した) 12.5%	P1 高い水準である(他に誇れる水準である) 0.0%	P1 高い(大半の市民から賞賛の声がある) 0.0%	C1 かなり大きい 100.0%	
	対象 道路利用者 市内の生活道路 意図 安全で、円滑な通行を確保する。	P2 どちらかと言えば高くなった 87.5%	P2 どちらかと言えば高い水準である 12.5%	P2 どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある) 0.0%	C2 どちらかと言えば大きい 0.0%	
	意図 安全で、円滑な通行を確保する。	P3 ほぼ同じ水準で変わらない 0.0%	P3 ほぼ同水準である 62.5%	P3 ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない) 12.5%	C3 どちらかと言えば少ない 0.0%	
	成果指標 ①舗装率 ②改良率 ③除雪率 ④狭あい市道率	P4 どちらかと言えば低くなった 0.0%	P4 どちらかと言えば低い水準である 25.0%	P4 どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある) 62.5%	C4 かなり少ない 0.0%	
	成果指標 ①舗装率 ②改良率 ③除雪率 ④狭あい市道率	P5 低くなった(成果がかなり低下した) 0.0%	P5 低い水準である(見劣りがする) 0.0%	P5 低い(大半の市民からの苦情が多い) 25.0%	- -	
	成果指標 ①舗装率 ②改良率 ③除雪率 ④狭あい市道率	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%	評価なし(評価なし) 0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策		成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考						
快 適 で あ る お い い の あ る 環 境 の 創 出	施策名	17 生活環境の整備 (住宅)	主管課	住宅課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	12.5%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%
	対象	市域に居住している者 市域の住宅 市営住宅			P2	どちらかと言えば高くなった	75.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	75.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	87.5%
	意図	①安全で快適な住生活の実現を図る。 ②高齢者等が生活しやすい市営住宅を提供する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	25.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%
	成果指標	①市民1人当たりの住宅延べ面積 ②市営住宅における高齢者仕様住戸率			P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	12.5%
					P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-
					評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
	施策名	18 生活環境の整備 (公園緑地)	主管課	公園みどり課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	37.5%
	対象	市街地周辺の山並み 河川敷、住宅地、歩道(市街地) 公園緑地の利用者、愛護会			P2	どちらかと言えば高くなった	100.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	62.5%
	意図	緑を保全する 公園緑地を増やす 緑を大切にする心を広める 安心、安全な公園づくり			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	62.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%
	成果指標	①一人当たりの公園面積 ②公園愛護会の数と公園数 ③緑化保全策(風致と緑化協定) ④街路樹(高木)の本数 ⑤遊具の改善数			P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	37.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	0.0%
					P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-
					評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
	施策名	19 生活環境の整備 (上水道)	主管課	[水道]建設課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	25.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	12.5%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	87.5%
	対象	全市民			P2	どちらかと言えば高くなった	62.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	12.5%
	意図	安全でおいしい水を豊富にかつ安定的に供給する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	87.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	62.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%
成果指標	①全供給施設を含めた普及率(地下水利用者を除く) ②全管路延長に占める水道管耐震化率 ③水道法に定められる水質基準46項目を補完する快適水質13項目の達成率 ④自己資本構成比率			P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	12.5%	C4	かなり少ない	0.0%	
				P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
				評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
施策名	20 生活環境の整備 (下水道)	主管課	計画課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	37.5%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	12.5%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%	
対象	全市民			P2	どちらかと言えば高くなった	62.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	87.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	75.0%	
意図	衛生的で、安全な生活環境を確保する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3	ほぼ同水準である	0.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	25.0%	
成果指標	①汚水処理施設整備率 (公共下水道施設の整備人口 + 農業集落排水施設の整備人口 + 合併浄化槽施設の整備人口) / 行政区域内人口) ②公共下水道雨水整備率(整備面積/認可面積)			P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	25.0%	C4	かなり少ない	0.0%	
				P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
				評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考						
快速でうるおいのある環境の創出	施策名	21 生活環境の整備 (廃棄物処理)	主管課	清掃管理課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	100.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	12.5%	
	対象	市内で排出される一般廃棄物			P2	どちらかと言えば高くなった	12.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	75.0%	
	意図	①発生が抑制される。②再使用が推進される。③再生利用が推進される。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	0.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	12.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
	成果指標	①家庭系一般廃棄物の1人1日あたりの排出量 ②事業系一般廃棄物の1日あたりの排出量 ③リサイクル率	P4	どちらかと言えば低くなった	75.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	62.5%	C4	かなり少ない	12.5%
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
	施策名	22 生活環境の整備 (火葬場・墓園)	主管課	市民登録課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	100.0%	
	対象	火葬場、墓園施設 火葬場利用者数、墓園使用希望者数			P2	どちらかと言えば高くなった	75.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	0.0%	
	意図	利用者の希望に合わせた施設使用を可能にする。墓地を必要とする市民に提供する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	25.0%	P3	ほぼ同水準である	87.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	25.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
	成果指標	①火葬場一日平均利用件数(利用件数/稼働日数) ②墓園利用率 (市営墓地使用区画数/市営墓地設置総区画数) ③世帯当りの市営墓地設置数(1,000世帯あたり)	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	12.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	75.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	75.0%	C4	かなり少ない	0.0%
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
	施策名	23 市民生活の安全確保 (防犯・交通安全の推進)	主管課	市民生活課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%	
対象	市民(特に交通安全では、高齢者、児童生徒、自転車利用者、バイク利用者)			P2	どちらかと言えば高くなった	12.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	25.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	50.0%		
意図	生命や財産を犯罪、交通事故等から守る			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	37.5%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	12.5%	C3	どちらかと言えば少ない	37.5%		
成果指標	①刑法犯認知件数 ア)凶悪犯 イ)粗暴犯 ロ)窃盗犯 ハ)知能犯 ウ)風俗犯 エ)その他 ②交通事故発生件数	P4	どちらかと言えば低くなった	50.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	12.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	87.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	87.5%	C4	かなり少ない	12.5%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-		
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
施策名	24 市民生活の安全確保 (消防・救急体制の充実)	主管課	消防防災課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	12.5%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	62.5%		
対象	火災・救急			P2	どちらかと言えば高くなった	62.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	87.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	50.0%	C2	どちらかと言えば大きい	37.5%		
意図	適切かつ迅速に対応する			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	12.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%		
成果指標	①類焼棟数 ②損害額 ③救急自動車の平均到着時間 ④覚知から放水までの平均所要時間	P4	どちらかと言えば低くなった	12.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	12.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	12.5%	C4	かなり少ない	0.0%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-		
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考			
25 市民生活の安全確保 (自然災害の防止)	主官課 消防防災課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%	
		対象	市民 自然災害(地震、水害、火山、がけ崩れ)	P2	どちらかと言えば高くなった	25.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	12.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい
	意図	生命、身体及び財産を災害から守る	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	62.5%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	50.0%
	成果指標	①河川整備率 ②急傾斜地危険箇所における整備率(整備箇所数/危険箇所) ③山地災害危険箇所における整備率(整備箇所数/危険箇所) ④災害訓練への参加率 ⑤自然災害に対する関心度	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	C4	かなり少ない	0.0%
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-
			評価なし	(評価なし)	12.5%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
26 快適な都市環境の創出 (自然・歴史的環境の保全と活用)	主官課 環境企画課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	50.0%	
対象		市域全体の自然環境(動植物を含む) 歴史的環境(建築物、構造物、街並み、風情、慣習、町名、言葉などを含む)	P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	50.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	50.0%
意図	保全する。 (発掘する、守って知らせる、活用する)	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	100.0%	P3	ほぼ同水準である	25.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	①環境保護地区等の延べ指定件数・内訳 ②近郊自然歩道の設置コース数 ③指定物件の一般公開件数	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	0.0%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
		27 快適な都市環境の創出 (都市景観の形成)	主官課 建築指導課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい
対象	建築物、工作物、道路、看板などの街並み	P2		どちらかと言えば高くなった	25.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	50.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	37.5%
意図	地域の特色を生かした街並み形成や山並み眺望確保等優れた都市景観の保全と創造を図り、自然環境と歴史的環境とが調和した都市景観の形成を図る。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	50.0%	P3	ほぼ同水準である	25.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	25.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	①盛岡に誇れる景観があると思う人の割合 ②盛岡市内の景観で最近良くなった場所があると感じてる人の割合 ③盛岡市内の景観で最近悪くなった場所があると感じてる人の割合	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	C4	かなり少ない	12.5%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
		評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
28 快適な都市環境の創出 (花と緑のまちづくり)	主官課 公園みどり課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	25.0%	
対象		市街地の花と緑 市民、町内会、子供会、老人クラブ、緑化推進団体、事業者	P2	どちらかと言えば高くなった	87.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	25.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	50.0%
意図	市民の参加により、花と緑を増やす。	P3	ほぼ同じ水準で変わらない	12.5%	P3	ほぼ同水準である	50.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	市の制度を活用した花と緑(件数、量) 緑と花の相談所(件数、人数)	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	25.0%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	

快適でくまのいる環境の創出

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考						
快適でうるおいのある環境の創出	施策名	29 快適な都市環境の創出 (公害の防止)	主管課	環境企画課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	12.5%	
	対象	市域全体の環境負荷(大気、水質、騒音、振動、化学物質等)			P2	どちらかと言えば高くなった	62.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	37.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	50.0%	
	意図	環境負荷を軽減する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	37.5%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	12.5%	
	成果指標	①公害の監視(SO2, NO2, BOD, 騒音(道路騒音、一般騒音)の各環境基準の達成率 ②苦情処理率(苦情処理件数/苦情受付件数) ③地球規模の環境対応(1人当たりCO2排出量炭素換算トン)	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	P4	低い(一部の市民からの苦情が多い)	50.0%	C4	かなり少ない	25.0%
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
健やかで心のかような地域社会の形成	施策名	30 コミュニティづくりの促進	主管課	市民生活課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	12.5%	
	対象	地域で行われる市民の自主的な活動			P2	どちらかと言えば高くなった	62.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	12.5%	
	意図	活動が活発に行われ、地域が支え合って市民相互に連携できるようにする。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	37.5%	P3	ほぼ同水準である	87.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
	成果指標	① 26地区のコミュニティ活動の延参加者数 ② コミュニティ施設の利用者数	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	12.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	P4	低い(一部の市民からの苦情が多い)	50.0%	C4	かなり少ない	75.0%
			P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%
施策名	31 市民福祉の充実	主管課	障害福祉課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%		
対象	社会的支援を要する者			P2	どちらかと言えば高くなった	50.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	75.0%		
意図	相談・支援の手を差し伸べる。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	50.0%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	25.0%		
成果指標	対象者1人当たり、市が事業を通じて手を差し伸べた延べ件数(事業実施延べ人数/対象指数の実人数)	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	P4	低い(一部の市民からの苦情が多い)	50.0%	C4	かなり少ない	0.0%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
施策名	32 高齢者保健福祉の充実	主管課	高齢福祉課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%		
対象	65歳以上の市民			P2	どちらかと言えば高くなった	25.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	75.0%		
意図	「寝たきり」を防ぎ、いつまでも元気に暮らすことができる。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	50.0%	P3	ほぼ同水準である	100.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	12.5%		
成果指標	①高齢者に占める介護保険認定者数 ②高齢者スポーツ大会参加者数 ③老人福祉センター・老人憩いの家利用者数 ④転倒予防教室参加者数(保健センター、在宅介護支援センター) ⑤訪問歯科検診者数 ⑥痴呆予防教室参加者数	P4	どちらかと言えば低くなった	25.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	62.5%	P4	低い(一部の市民からの苦情が多い)	62.5%	C4	かなり少ない	12.5%	
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考					
健やかで心のかような地域社会の形成	施策名	33 保健・医療の充実	主管課	保健センター	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	0.0%
	対象	全市民			P2	どちらかと言えば高くなった	100.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	37.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	25.0%	C2	どちらかと言えば大きい	87.5%
	意図	①健康が保持・増進されている状態にする。 ②病気を早期に発見することができる。 ③安心して医療を受けることができる。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3	ほぼ同水準である	25.0%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	25.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%
	成果指標	①健診受診率 7) 基本健診受診率 1) がん検診受診率 4) 妊産婦 ②二次救急医療病院の患者数 7) 入院 1) 外来 ③市立病院の患者数 7) 入院 1) 外来	④医療費受給者数 7) 乳幼児 1) 妊産婦 ⑤国保加入者の受診率	P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	C4	かなり少ない	12.5%	
				P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
				評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
施策名	34 市民参加の促進	主管課	広聴広報課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	37.5%	
対象	①市民 ②有権者			P2	どちらかと言えば高くなった	37.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	25.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	12.5%	
意図	市政情報を明らかにして、市民に伝え、ヒヤリングで市民の声を把握、対話し、市民による市政への参画を促す。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	37.5%	P3	ほぼ同水準である	37.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	①市民参加指数 a) 審議会委員数 c) 市民の提案箱提案数 e) 情報公開閲覧件数 ②選挙投票率 b) 市政懇談会参加数 d) 情報公開請求件数 f) 議会傍聴者数	P4	どちらかと言えば低くなった	25.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	12.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	50.0%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-				
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%			
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%			
施策名	35 行財政運営の効率化	主管課	行財政改革推進課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	100.0%	
対象	全職員 歳入歳出決算			P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	0.0%	C2	どちらかと言えば大きい	0.0%	
意図	適正な組織機構と予算で、効果的かつ効率的に事業を執行する。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	0.0%	P3	ほぼ同水準である	12.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	12.5%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	総合計画進捗率 経常収支比率 人件費比率 自主財源率 公債費比率 市債残高	P4	どちらかと言えば低くなった	75.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	75.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	62.5%	C4	かなり少ない	0.0%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	25.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	12.5%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	25.0%	-	-				
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%			
施策名	36 イメージアップの推進	主管課	広聴広報課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	37.5%	
対象	①国内外の人 ②市民			P2	どちらかと言えば高くなった	12.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	37.5%	
意図	①盛岡を訪れてみたい、盛岡に住んでみたい、事業進出してみたいと思うてもらおう ②ずっと住み続けたいと思うてもらおう ※市民の郷土への関心と理解を高めるとともに、全国に情報発信し本市に対する市外(国内外)の人々の知名度・イメージを向上させることにより、幅広い交流を図る。			P3	ほぼ同じ水準で変わらない	75.0%	P3	ほぼ同水準である	37.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	25.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
成果指標	①観光客入込数 ②ホームページアクセス数 ③コンベンション支援件数 ④転勤奥様教室受講者の本市のイメージについてのアンケート調査 ⑤新聞社等への情報提供件数	P4	どちらかと言えば低くなった	12.5%	P4	どちらかと言えば低い水準である	62.5%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	62.5%	C4	かなり少ない	25.0%			
		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-				
		評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%			

◇施策相対評価結果

政策・施策			成果実績の水準(①経年比較) 「平成7年当時と比べて…」		成果実績の水準(②近隣等比較) 「近隣他市町と比べて…」		成果実績の水準(③住民期待比較) 「市民の期待より…」		成果向上に市の施策が及ぼす影響力 「国や県、住民と比べて…」		備考					
計画の推進	施策名	37 広域行政の推進	主管課	企画調整課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	0.0%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	75.0%
	対象	盛岡広域市町村圏の11市町村		P2	どちらかと言えば高くなった	0.0%	P2	どちらかと言えば高い水準である	0.0%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	25.0%	
	意図	①ひとつの市町村では難しい、あるいは共同で行った方が効率的で効果が高い事務事業を連携して取り組む。 ②地域の特性を生かした機能分担と連携により一体的な振興発展に取り組む。		P3	ほぼ同じ水準で変わらない	100.0%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	50.0%	C3	どちらかと言えば少ない	0.0%	
				P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	37.5%	C4	かなり少ない	0.0%	
	成果指標	①市と隣接町村との協力関係数(一部事務組合や協議会等の設置数、共同処理している事務事業数) ②盛岡地区広域市町村圏計画の進捗率		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-	
				評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	37.5%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	
	施策名	38 地方分権の促進	主管課	企画調整課	P1	高くなった(成果がかなり向上した)	12.5%	P1	高い水準である(他に誇れる水準である)	0.0%	P1	高い(大半の市民から賞賛の声がある)	0.0%	C1	かなり大きい	25.0%
	対象	市の施策		P2	どちらかと言えば高くなった	37.5%	P2	どちらかと言えば高い水準である	12.5%	P2	どちらかと言えば高い(一部の市民からの賞賛の声がある)	12.5%	C2	どちらかと言えば大きい	37.5%	
	意図	①自己決定、自己責任を基本としながら、各種のまちづくり施策を実施する。 ②国や県に対し、権限及びそれに見合った税財源の委譲をはたらきかける。		P3	ほぼ同じ水準で変わらない	50.0%	P3	ほぼ同水準である	62.5%	P3	ほぼ同水準である(市民からの苦情はほとんどない)	37.5%	C3	どちらかと言えば少ない	37.5%	
				P4	どちらかと言えば低くなった	0.0%	P4	どちらかと言えば低い水準である	0.0%	P4	どちらかと言えば低い(一部の市民からの苦情がある)	50.0%	C4	かなり少ない	0.0%	
成果指標	①特例市移行による委譲権限数 ②条例制定権の拡大により新たに制定した条例数 ③自主財源比率 ④盛岡市行政改革大綱実施計画の進捗率		P5	低くなった(成果がかなり低下した)	0.0%	P5	低い水準である(見劣りがする)	0.0%	P5	低い(大半の市民からの苦情が多い)	0.0%	-	-	-		
			評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	25.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%	評価なし	(評価なし)	0.0%		